

シリーズ 三郷学

〈三郷学の視点③9〉

三郷学の視点

17. 資源 (地域資源を育てる)

市の代表的な地域資源の一つに江戸川があります。この堤防には、日本一長いサイクリングロードが整備され、遠方からのサイクリストや、散歩する近所のかたなど多くの人々に使われています。今年の3月には、江戸川をより魅力的な場所にするために、三郷駅からほど近い堤防上に休憩施設が整備されました。これまではただの通り道だった場所が、休憩施設を整備した結果、広々とした河川空間の魅力を



体感できる気持ちの良い場所となり、たくさんのかたが足を止めるようになりました。

そして今年度末、新たにトイレが整備されることに伴い、「愛着を持って地域資源である江戸川や休憩施設を育ててもらいたい」そんな思いからこの場所の名称を公募によって決定することとなりました。

この取り組みは、三郷学の「地域資源を『つなぎ・ひきだす』」ことを行った代表的な例です。三郷学における地域資源は、市民・企業・行政など、さまざまな立場と分野の人々が連携を図りながら育てていくものです。市民のみなさんも身近な地域資源を発見し、情報を発信していただき一緒に三郷をより魅力的なまちにしていきたいと思います。

江戸川交流拠点の名称公募については、「広報みさと(9月号)」又は、市ホームページをご覧ください。応募〆切は11月1日です。

